

ねいの里 ホオホオニュース



地中にねむっていた植物たちが目をさます!?

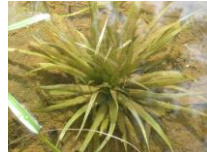
植物は環境があわなくなると、種子や地下茎や球根などをつくり、休眠をして自分にあった環境になるまで耐えることができます。

水生庭苑では、栽培植物の除去や除草、ヘドロ取り除き・水量管理などの整備をおこなっています。土壌は、光が届くようになったり、かきまぜられたりと大きな変化が起こりました。そして復活のチャンスを待っていた水草達が息を吹き返してきました。今年新たにスプタやクログワイの生育を確認しています。

富山県危急種

スプタ (トチカガミ科)

変わった名前ですが、名古屋



地方の言葉で女性の乱れた髪をあらわす「すぶたがみ」からきているそうです。池の整備をして、水位がちょうど良い高さになると芽生えてきました。農薬や水質汚染に弱く、全国でどんどん減ってきています。



脱皮は頭部からはじまる

ありがとう仲間たち

展示館では、来館者にいきものとふれあっているだけでなく、里山の身近な生き物を展示しています。触れる機会の少ない、ヘビやカエルなど様々な仲間たちに協力してもらっています。今年、6/18より展示していたシマヘビの黒化型(通称:カラスヘビ)は、いこいの村駐車場付近でJr ナチュラリスト新庄康平君が見つけたものです。展示館で多くの方々に、スルスルとした肌を触らせてくれ愛想(?)をふりまいてくれました。

5回脱皮を確認し1.5倍ほどの長さになりました。9月下旬、気温があがらない時は、落葉などの下でじっとしている事が多くなりました。「そろそろ冬眠の準備をしたいよ」と言っているよう

です。10/4、「ありがとう」と展示館横の林で見送りました。ふりかえる事なくいってしまいましたが、また来春、顔をみせてくれるでしょうか。

生き物きらり! 大発見!

コオイムシ・メダカ・ギンブナの繁殖を確認!!

水辺のビオトープ整備をはじめて3年、うれしいニュースです。以前、栽培種の花ショウブとスイレンで覆われていた池は、ご存知のとおり様々な野生の希少動植物の保護増殖池と変わりました。この池で水の汚染や生息地の開発などにより、すみかを追われた生き物たちも元気を取り戻していたのです。

メダカやギンブナの稚魚は、水草やガマなど身を隠す場所がある、浅い池で群れになって泳ぎ、まさに「メダカとブナの学校」となっています。



あみにはいったギンブナの稚魚

ヤゴの体液を吸うコオイムシの幼虫



(5回脱皮しハネをもつ成虫になる)

コオイムシ(県絶滅危惧種)は16年8月に8匹、17年9月に55匹の成虫を八尾町などから移入しました。6月に卵を背負う雄の成虫を確認し、8月にはたくさんの幼虫が確認できました。

こうして生き物たちの営みを目にすることができ、改めて小さな命が生息できる環境を守り育てていくことの大切さを感じています。

活動ふりかえり

第3回生き物セミナーとビオトープ作り

(平成18年7月29日)

「植物遷移と里山の自然」をテーマに、名誉師範長井真隆氏に講演いただきました。ねいの里は、整備をすすめゾーンごとにさまざまな環境をもつ里山です。間伐前から変わってきた森の表情をしっかりと記録していきたいと感じました。



アサギマダラとデート【有峰】

(平成18年9月3日)

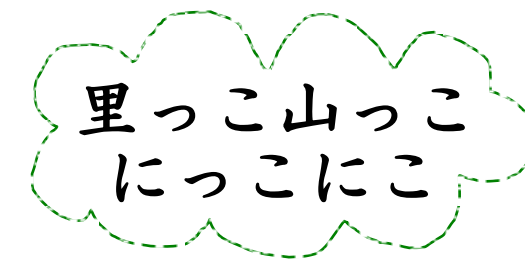
102個体にマーキングしました。ヨツバヒヨドリの蜜を吸ったり、水がしみ出る場所で吸水する様子がみられました。そのチョウのうち、さっそく翌4日に上高地(長野県)で、9/16に宝達山(石川県)での再捕獲情報が届いています。



キノコ狩りとキノコ汁を愛でる

(平成18年10月7日)

あいにくの天気となりましたが、「キノコ探しに夢中で雨なんて気にならなかったよ」と家族づれ。期待してもってこられてキノコ博士に毒キノコと鑑定されたのは、やはり多くは「カキシメジ」。この季節ねいの里でよく見られます。



ねいの里の自然に親しみ、年間を通じて活動する塾の会などの方々を紹介するコーナー

「音川保育所(富山市婦中町)」



平成16年より、音川保育所の年長組の児童たちが、月1回程度ねいの里をおとずれ自然観察をおこなっています。春は巣箱やギフチョウ、夏はモリアオガエルやトンボの観察、秋はどんぐりひろい、キノコ汁など四季を通じてねいの里の魅力を体感しています。「自然のなかの子どもたちは水を得た魚のように生き生きと動きまわっている」と伊東園長先生。

音川保育所の活動を中心となってサポートする丸山職員は『見る』に加え『触れる』体験を積極的に進めるように」と考えています。

自然塾の会 (ねいの里ホームページで活動紹介しています。)

毎月第1土曜日に定例会をおこないます。
 参加予約はいりません。お気軽にねいの里へお越しください！
 都合のよい時間だけの部分参加も歓迎です。
 昼食は各自ご用意ください、炭焼き小屋の囲炉裏をかこんでいただきます。

11月4日(土)	12月2日(土)	11月25日(土)~27日(月)
○ 午前10時~12時 外来植物の除去(軍手持参)	○ 午前10時~12時 きのこづくりの直前準備	○ 25日9時頃火入れ~ 27日午後終了
○ 午後1時半~午後3時 木の実しらべ(自然観察) 木の実マップを作ろう!	○ 午後1時半~午後3時 木の実しらべ結果のまとめ 春の七草行事協力について	○ 炭焼きを体験してみたい方、 実際に技を身につけたい方、 昼夜問わずお越しください!

- ※ 冬の期間中は研修会等を企画中です。ご希望があればねいの里または事務局までお知らせください。次回の活動はメールやホームページでお知らせします。
- ※ なお、メールアドレスをお知らせいただいている会員には、自然塾の会の定例会や臨時活動のお知らせをしますので、ご了承下さい。
- ※ 会員証の顔写真を提出していない方はねいの里へご提出下さい。会員証をお渡しします。

事務局 石澤岩央
 事務局 e-mail: jijii@pb.ctt.ne.jp
 ねいの里 e-mail: shizen@toyamap.or.jp

ねいの里行事案内

お電話でお申込みください。
 詳細はHPで紹介しています。

11月19日(日)
 9:30~15:00【ねいの里】

生き物セミナー(野生動物とのつきあい方)
 講師: 間宮寿頼【野生鳥獣共生管理員】
 森のビオトープ作り(雑木林づくりと炭焼き体験)

12月3日(日)
 9:30~13:00【ねいの里】

キノコづくりにトライ!
 間伐材をつかって、シイタケの菌打ちをおこないます。翌年、おいしいキノコを収穫し味わうことができます。
 (定員は家族単位30組申込順)

1月4日(木)~1月6日(土)
 9:00~16:00【ねいの里】

春の七草を愛でる(七草頒布)
 古くから一年の無病息災を祈って正月7日に七草粥を食べる慣習があります。
 (100セット: 申込順)

発行 生き物ふれあい自然塾 塾長 湯浅純孝

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1 自然博物館ねいの里内
 Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
 ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>

ふくろう通信

第2号
 2006年10月27日
 生き物ふれあい自然塾



今日のふくろう先生
 吉田 孝 先生(生き物ふれあい自然塾の会長)
 今回はインタビューを通してお話をうかがいました。



ねいの里に2年余勤めていらっしゃいましたが、その頃はどんな様子でしたか

当時は現在の「森と水辺のビオトープ(生き物がすめる場所)整備」に取り組む前で森はうっそうとしていました。ひなたぼっこ広場を明るくするための間伐や、散策路の整備など野外作業が山積みでした。野外整備は一人で行う事が多かったため、大変で人手が必要だと強く感じました。

現在のねいの里の取り組みについてどのように思われますか?

ビオトープ整備が進められていることはとても大事だと思います。希少動植物が生息・生育できる環境が整い、どの季節にでもそれらを観察できる場所は県内にはない。ここにはミニビオトープがたくさんあるので、子どもだけでなく大人にも魅力があります。今後、県内外の皆さんにビオトープ整備の模範とした場所であることを知ってもらえたらいいですね。

塾の会ではどのような活動を行いたいですか?

生き物がいきいきと暮らす里山の中での活動を存分に楽しんでもらいたいですね。そのためには、まず現在すすめている整備に協力することが大切だと考えます。ねいの里の行事等をサポートする立場で活動していきたいです。里山の整備というのは労力・知恵など多くの方の協力が必要ですので、手伝いをしながらの楽しみを見つけてほしいのです。「作業やお手伝い」は大変なことも多いですが、その先の変化や成果を見守る楽しみにもなりますし、何よりそのフィールドに愛情がわいてきます。自然と対話しながらねいの里での活動を楽しんで行きましょう。

ありがとうございました。ねいの里が皆さんの「マイ フィールド」として親しんでもらえるよう、皆さんの意見をいただきながら活動を進めていきたいと思いました。(聞き手: 森)

自然情報 (ねいの里のみどころ)

11月【木の実・紅葉】	12月【冬にやってくる渡り鳥】	1月【冬芽・足跡】
 アズキナシ	 ウソ	 ホウノキの冬芽
園内では、様々な色の果実と紅葉が楽しめます。	ウソやシロハラ、ミソサザイなどの漂鳥・冬鳥が観察できます。	かんじきで雪上を歩くと、おもしろい顔の冬芽にあえます。